

令和3年度 新規採択要望箇所の概要

1. 事業概要

事業名	農地整備事業(ほ場整備)
事業箇所	町袋地区(富山市町袋ほか地内)
事業量	受益面積 33.7ha
事業内容	区画整理 33.7ha
総事業費	14億円
予定工期	令和3年度～令和11年度

2. 事業の必要性

- 本地区の農地は、昭和50年代の団体営小規模排水対策特別事業により整備されたが、一区画が20aと小区画で農道も狭いことから、大型機械導入の妨げとなっている。また、用排水路の老朽化が著しく水管理や維持管理に多大な労力を費やしていることから、区画整理と併せて、農道及び用排水施設等を整備し、効率的な営農の基盤を整備することにより、新たな担い手への農地集積を図る。
- 大区画化による米、麦の生産コスト削減や、高収益作物である「たまねぎ」の導入による複合経営に取り組み、担い手経営の安定化を図る。
- 用排水路整備による農地の汎用化や土づくりを徹底し、麦等の単収・品質向上を図る。

3. 事業の適切性(事業規模、区間など)

- 町袋集落が中心となり、事業化を契機として、農地集積に向けた検討や整備内容のとりまとめなど、合意形成に向けた話し合いを地区一体となって進めている。
- 農地の大区画化等の整備と担い手の育成・支援を一体的に実施し、農地集積の加速化や農業経営の安定化を図る。
- 本地区の区画については、1.5ha(100m×150m)区画とする。

4. 事業の投資効果

- 費用便益比(B/C) 1.25
※作物生産、営農経費節減、景観・環境保全、国産農産物安定供給等による便益
- ＜その他の効果＞
- 農地中間管理機構との連携を15年以上安定して行い、担い手への農地集積に伴う農業経営の安定化を図る
- 幹線排水路の暗渠化による農作業時間の短縮や草刈り作業の軽減
- 耕作放棄の発生防止

5. 推進体制

- 富山市、常西用水土地改良区から要望あり。
- 町袋地区機構関連農地整備事業推進協議会(H29.10月設立)、常西用水土地改良区富山市、JAなのはな、県農林振興センターが連携し、事業推進と営農支援を図る。

